

平成27年度

がん患者さんのご家族とご遺族のこころの講演会

大切な人との時間

～ 悲しみを抱いたまま生きていく～

公益財団法人 日本対がん協会 会長

講師



かきぞえ ただお
垣添 忠生 氏

配偶者、あるいはお子さんかもしれない、
最愛の人を失った後、残された人の苦しみ、
悲しみは測りしれない。

私は妻を失って丸7年経った。

特に最初の1年の苦しみは尋常ではなかった。

この悲しみは永遠に消えないが、今は悲しみを抱いたまま
生きていく術は身につけてきた。

私の体験がお役にできれば幸いである。

日時：平成28年 2月13日（土）

：午後2時～午後4時（開場：午後1時30分）

場所：浜松市地域情報センター ホール（浜松市中区中央一丁目12-7）

参加費：無料

定員：100名

申し込み：平成28年 1月13日（水）より、お電話にて、当センターにお申込みください

【主催】浜松市精神保健福祉センター

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目12-1 県浜松総合庁舎4階

TEL：053-457-2709 Fax：053-457-2645

<お申込み先>

浜松市精神保健福祉センター

電話：053-457-2709

講師のご紹介

垣添 忠生 (かきぞえ ただお) 氏

1941年、大阪にて出生。1967年、東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務。1972年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手となる。この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜国立がんセンター研究所に通い研究を続ける。1975年、国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992年1月に病院長、同年7月に中央病院長、2002年4月総長に就任する。2007年4月国立がんセンターを退職し、同名譽総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。泌尿器科学を専門とし、発がん全般、特に膀胱発がん、前立腺発がんについてなど、幅広く関心を持ち強い想いを持って研究を続けている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りし、がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。これまでに、国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、瑞宝重光章などを受賞している。

主な著書：発がんからみた膀胱がんの臨床（メディカル・ビュー社）
患者さんと家族のためのがんの最新医療（岩波書店）
妻を看取る日（新潮社）
がんと人生（中央公論新社）など。

がんと人間（共著 岩波新書）
前立腺がんで死なないために（中央公論社）
悲しみの中にあるあなたへの処方箋（新潮社）

会場案内

浜松市地域情報センター

（浜松市中区中央一丁目12-7）

- * 駐車場はございませんので、公共交通機関でおこしください。
- * お車でお越しの際には、近隣に有料駐車場がございますが、費用はお客様負担となります。施設使用割引等ございませんので、ご了承ください。

